

3. ウイルス検定

1) イネ縞葉枯ウイルス

- ・目的  
ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率の実態を明らかにし、防除対策の参考に資する。
- ・検定虫採集  
越冬世代虫（3月）、第1世代虫（5月18～26日）
- ・検定期期  
越冬世代虫（5月29～31日）、第1世代虫（5月29～31日）
- ・検定方法  
ラッセクス凝集反応法
- ・検定結果

第1表 ヒメトビウンカの縞葉枯ウイルス保毒率  
(越冬世代虫)

採集場所	検定虫数	保毒虫数	保毒率
佐世保市宮	14	3	21.4
佐世保市鏡ヶ浦	42	6	14.3
大村市今村	87	16	18.4
大村市鈴田	17	0	0
松浦市志佐	13	2	15.4
高来町湯江	25	2	8.0
県全体	198	29	14.6

第2表 ヒメトビウンカの縞葉枯ウイルス保毒率

採集場所	検定虫数	保毒虫数	保毒率
佐世保市宮	100	7	7.0
諫早市貝津	96	5	5.2
〃 長野	100	13	13.0
大村市三浦	99	3	3.0
福江市坂ノ上	54	3	5.6
松浦市御厨	100	19	19.0
多良見町船津	100	6	6.0
西彼町中山	70	0	0
国見町神代	100	6	6.0
有家町蒲河	97	15	15.5
岐原町小茂田	7	1	14.3
県全体	923	78	8.5

第3表 保毒率の推移

検定期期	保毒率
年月	
昭 60.11	11.2
61. 3	17.2
61. 5	10.9
61.11	15.9
62. 3	6.1
62. 6	5.9
62.11	3.4
63. 3	1.7
63. 6	1.8
平 1. 3	0.5
1. 5	1.5
2. 3	2.2
2. 5	1.9
3. 3	2.8
3. 5	2.0
4. 3	14.6
4. 5	8.5

2) イネ萎縮ウイルス

- ・目的  
ツマグロヨコバイのイネ萎縮病ウイルス保毒虫率の実態を明らかにし、防除対策の参考に資する。
- ・検定虫採集  
第1世代虫：5月18～26日
- ・検定期期  
第1世代虫：5月29日～5月31日
- ・検定方法  
ラッセクス凝集反応法
- ・検定結果

第1表 ツマグロヨコバイのイネ萎縮ウイルス

採集場所	検定虫数	保毒虫数	保毒率
諫早市鷺崎	100	0	0 %
大村市今村	100	0	0
佐世保市宮	85	0	0
福江市野々切	60	0	0
多良見町大草	100	0	0
大瀬戸町雷ノ浦	50	0	0
吾妻町干拓	100	0	0
国見町神代	29	0	0
有家町蒲河	25	0	0
田平町上亀	100	0	0
石田町油田	41	1	2.4
県全体	790	1	0.1

第2表 ツマグロヨコバイのイネ萎縮ウイルス保毒率の推移

検定期期	保毒率
年月	%
昭 63. 7	4.2
63.10	0.9
平 2. 6	2.4
3. 6	1.8
4. 5	0.1